



ムパタ・サファリ・クラブのご案内



はじめに

ケニア共和国 Republic of Kenya

国名： ケニア共和国（国名はケニア山に由来）

国土： 約 58.3 万 km²（日本の約 1.5 倍）

人口： 約 4,435 万人（2013 年、世界銀行）

首都： ナイロビ

言語： スワヒリ語、英語

通貨： ケニア・シリング（Ksh）

時差： 日本より 6 時間遅れ（例：ケニアが朝 9 時の時、日本は午後 3 時）、サマー・タイムはなし

電圧： 220～240V、交流 50 ヘルツ、プラグの形は BF 型

地勢： アフリカ大陸東部に位置し、北はエチオピア、スーダン、西はウガン



ダ、南はタンザニアと国境を接し、東はソマリアとインド洋に臨みます。国内の西部にアフリカ大地溝帯（グレート・リフトバレー）が縦走し、中部にはアフリカ第二の標高を持つケニア山があります。気候は、高原地帯、湖岸地帯、砂漠地帯など地域により異なります。赤道直下のため、四季はありませんが、大別して雨季と乾季に分けられます。

ナイロビ Nairobi

ナイロビは南緯 1.2 度（赤道から約 140km 南）のほぼ赤道上に位置していますが、海拔約 1,700m の高地にあるため、気候は年間を通じて夏の避暑地といった趣です。年間の平均気温も 17.5℃と、「暑い」とイメージされがちなアフリカとは程遠く、過ごしやすい環境です。

ナイロビという名称は、マサイ語の「エンカレ・ナイロビ = 冷たい水」に由来するといわれます。当初、ケニア東海岸の港町「モンバサ」が東アフリカ全体のイギリス植民地の中心地でしたが、そのモンバサとカンパラ（ウガンダ）をつなぐ鉄道建設にあたってナイロビが工事用キャンプに選ばれたのがナイロビ誕生のきっかけです。その後、雑然とした町は整備され、植民地の中心としての首都も 1905 年にナイロビへ移されました。現在ナイロビはケニアの首都であるばかりでなく、東アフリカの政治・経済・文化の中心でもあり、国連環境計画（UNEP）の本部も置かれるなど東アフリカ第一の都市となりました。



マサイ・マラ国立保護区 Masai Mara National Reserve

マサイ・マラ国立保護区はケニア南西部、ナイロビから西南西に約 280km 離れた位置にあり（飛行機で約 1 時間）、ケニアのみならず東アフリカを代表するサファリの“メッカ”として世界的に有名な動物王国です。面積は約 1,500k m²で大阪府と同じくらいの広さがあり、さらに隣国タンザニアのセレンゲティ国立公園と障害物なく隣接しているため、セレンゲティ・マラ生態系という一大生態系を形成しています。この地域は 400 万年前の太古の地球の姿を残すといわれ、草原や疎林帯、沼沢地、大小の河川、丘陵などの変化にとんだ地形と植生が多くの野生動物を支えています。草食動物の種類と数が多いため、ケニア最大のライオン棲息地となっており、“ライオン王国”とさえ呼ばれています。ここは食物連鎖のつながりを実感できる野生生物の楽園です。また、例年 7 月頃から国境を越えてくる「ヌーの大移動」とそれにとまらぬ「ヌーの川渡り」は世界的に有名ですし、熱気球（バルーン）による空からのサファリもここでは楽しめます。

ヌーの大移動 The annual migration

セレンゲティ・マラ生態系に生息するヌーは、タンザニアのセレンゲティ国立公園とケニアのマサイ・マラ国立保護区との間を、一年のサイクルで移動している。例年 7 月上旬頃、ヌーの群れはセレンゲティ国立公園からマサイ・マラ国立保護区へ入り始め、そのまま 10 月頃までマサイ・マラ国立保護区にとどまり、11 月頃、再びセレンゲティ国立公園へ向けて動き出す。この大移動は、降雨とそれに伴う草の新芽を求めてのものとしており、ヌーたちの行動サイクルと群れの規模は、その年の気象条件に大きく左右される。2003 年、マサイ・マラにやってきたヌーの数は 100 万頭を超えたが、2001 年には数十万頭にとどまった。またその移動経路も、明らかに時計回りでマサイ・マラを通過する年もあれば、そうとはいえない年もある。

準備と手続き

気候と服装について

気候： 赤道直下であるため日本のように四季はありませんが、1月頃が最も暑く、7月頃が最も寒くなります。ただしナイロビやマサイ・マラの位置する内陸部は標高 1,700 メートル前後の高原であるため、最高気温は 25～30℃前後、最低気温は 18～13℃前後と過ごしやすのが特徴です。ただし 7～8 月は曇りがちの日も多く、朝夕 10℃を下回ることもありますので、万全の寒さ対策が必要です。

なおケニアには乾季（12～2月、6～10月）と雨季（3～5月：大雨季、11月頃：小雨季）がありますが、雨季でも雨が降るのは週に数度、またその時間帯もほとんどが夕方以降ですので、観光に支障をきたすことはほとんどありません。

服装： 一年を通して日中は夏服で大丈夫ですが、朝晩は冷え込みますので厚手のトレーナーやセーター、フリース、ウインドブレーカーなど重ね着のできるものをお持ちください。なおゲーム・ドライブ中は埃がたちやすいため、汚れが目立ちにくく、洗濯後乾燥しやすいカジュアルな服装がお勧めとなります。また靴は、履きなれたスニーカーやアウトドア用のウォーキング・シューズが適していますが、雨季は、ぬかるんだ場所を歩かなければならないことも考えられますので（マサイ村訪問時、またはヒippo・ポイントでの降車時など）、汚れてもよい靴をお履きください。また、ロッジで履くサンダル等をお持ちになるとよいでしょう。

なお、ムパタ・サファリ・クラブにはスイミング・プールがございますので、ご利用される方は水着もお持ちください。また、ムパタ・サファリ・クラブのスイート・ルームをご利用の場合も、ジャグジーご使用時は水着をご着用いただいております。

衛生・健康管理について

黄熱病： 近年、ケニア近隣諸国への出入国に際して、黄熱ワクチン証明書（通称イエローカード）の携行チェックが厳しくなっております。特に南アフリカ共和国では WHO の黄熱汚染認定国であるケニアからの入国者が、イエローカードを提示できないため、入国拒否となった例が続出しています（以前は空港クリニックで接種することにより入国可能でしたが、現在は認められていません）。

また、黄熱汚染認定国であるケニアからいったん出国した場合、行き先がたとえ欧州でも、ケニアに再入国する際にナイロビ国際空港でイエローカードの提示を求められることがあります。

イエローカード携行の必要性については、在ケニア日本国大使館や厚生労働省検疫所のホームページにて、常に最新の情報をお確かめください。

マラリア： ケニアは WHO（世界保健機構）によりマラリアの汚染地域に指定されていますが、マサイ・マラなどの高地では発生率は低いとされています。予防内服薬に関しては、必ず医師にご相談ください。

一般対策としては、蚊に刺されないために①虫除けスプレーを利用する。②屋外にいる時、特に夕方～夜にかけては肌の露出を避けるため長袖シャツ、長ズボンを着用する。③無香料の化粧品を使用する。などが挙げられます。

通貨・両替について

通貨： ホテルやロッジでは米ドルをそのまま利用できるところが多いため、米ドルをお持ちいただくのが便利です。なお US \$ 10 以下の小額紙幣（特に \$ 1 紙幣）は、そのままチップにも使えるなど重宝します。

ただしケニアでは、**発行から 10 年以内の紙幣しか**ご利用いただけませんのでご注意ください。

（例：2019 年時点では、2009 年以降に発行された紙幣のみ有効）

なおムパタ・サファリ・クラブでは、米ドル、ケニア・シリング、日本円、英ポンド、ユーロの各現金のほか、VISA、MasterCard、AMEX、JCB の各クレジット・カードもご利用いただけます。

両替： 米ドル、日本円、英ポンド、ユーロからケニア・シリングへの両替は、ムパタ・サファリ・クラブで承っております。

ビザ（査証）について

ケニア訪問の際は、観光目的であってもビザの申請・取得が義務付けられています。2015 年 8 月 31 日にてケニアの空港や国境ポイント、駐日ケニア共和国大使館でのビザ発給業務は終了し、オンラインによる申請・取得の方法へと完全移行されました。ケニアを訪問される際は、必ず事前にオンライン申請し、ビザを取得してください。詳しくは、駐日ケニア共和国大使館の「[オンラインビザ申請手続き](#)」をご覧ください。

海外旅行傷害保険について

より安心してご旅行していただくためにも、ご旅行中の病気や事故・盗難などに備えて、海外旅行傷害保険に必ずご加入されることをお勧めします。日本国外での治療費用やご自身の責任による賠償金などはかなり高額となります。また、賠償義務者が日本国外の運輸機関や宿泊施設などである場合、賠償を取り付けるのは容易でない場合もあります。さらに国情により賠償額が非常に低く、十分な補償を受けられないこともございます。こうした理由から、お客様ご自身で十分な海外旅行傷害保険にご加入されることをお勧めします。

お荷物について

ナイロビ～マサイ・マラ間を国内線で移動される場合、お一人様あたりの手荷物はソフトバッグで 15kg までと制限されておりますので、十分ご注意ください。なお手荷物とは、機内に持ち込む手荷物「機内持込手荷物 = Carry-on Baggage」と航空会社に預ける手荷物「受託手荷物 = Checked Baggage」の両方（合計）をさします。15kg を超える場合や 15kg 未満でもハードケースの場合は航空会社に運送を拒否されてしまうこともございますので、十分ご注意ください。

2017 年 9 月以降、ケニアでは環境保護の観点から「プラスチックバック」（ビニール袋）の所持が違法になりました。

見える形での所持はもちろんのこと、バック内など見えないところで使用していても違法になります。

使い捨てのプラスチックバック（ビニール袋）の持ち込みは法律違反になりますので、くれぐれも持ち込まないようご注意ください。

現地事情

治安について

ケニアの治安はナイロビ市内の一部を除いては一般的に良好ですが、昼間であっても人通りの少ない場所などへは行かないようご注意ください。また、お一人での外出、夜間の外出はお控えください。

パスポートや現金などの貴重品を車の中やホテル／ロッジの部屋に放置することは厳禁です。なおスーツケース類は必ず鍵のかかるものをご使用ください。

現地の治安および病気に関する情報は「[外務省 海外安全ホームページ](#)」で事前にご確認ください。



国際空港と国内空港

ナイロビにはジョモ・ケニヤッタ国際空港（Jomo Kenyatta International Airport）とウィルソン空港（Wilson Airport）があります。国際線はジョモ・ケニヤッタ国際空港発着、マサイ・マラを含む国内線はウィルソン空港発着となりますが、ウィルソン空港はジョモ・ケニヤッタ国際空港から西に 18km ほど離れています。また、この 2 空港間は日常的に渋滞しておりますので、お時間にはゆとりをもってお出かけください。

ムパタ・サファリ・クラブへのアクセス

ムパタ・サファリ・クラブへは、ナイロビのウィルソン空港からの定期便をご利用いただけます。ただしマサイ・マラにはいくつかの飛行場（滑走路のみ）がありますのでご注意ください。ムパタ・サファリ・クラブ最寄りの飛行場は「Kichwa Tembo Airstrip（キチュワ・テンボ・エアストリップ）」となります。



ウィルソン空港からは「AirKenya（エアケニア）」と「SafariLink（サファリリンク）」の 2 社が毎日運航しています。フライト・スケジュールなど詳しくは、お申し込みの旅行代理店または上記航空会社へお問い合わせください。

なおマサイ・マラへの定期便は、マサイ・マラ内の複数の飛行場を循環しながら乗客を乗り降りさせ、ナイロビへ引き返します。ただしマサイ・マラ内の循環場所とその順序は固定されておらず、当日の予約状況により毎日異なりますので、それぞれの飛行場への到着時刻、出発時刻はあくまでも目安だとお考えください。

ムパタ・サファリ・クラブでの過ごし方

日本人によって建てられたムパタ・サファリ・クラブは、作家や俳優など著名人、文化人に愛されるケニア初の会員制サファリ・ロッジとして 1992 年にオープンしました。曲線を活かした自然で優しい印象の建物は、日本を代表する建築家、鈴木



エドワード氏の設計によるものです。ロビーや客室内に置かれた家具や調度品もすべて鈴木純郎氏のオリジナル。お客様に最高の休日を演出するこだわりです。

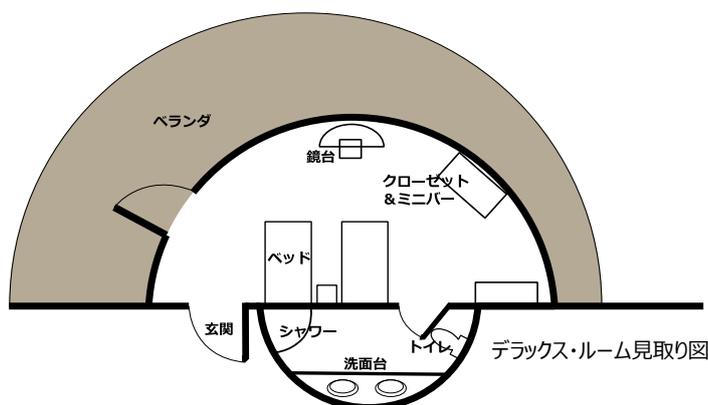
23 室だけの限られた空間で、あなただけのアフリカの休日をお過ごしく下さい。

なお、朝・夕のゲーム・ドライブ以外は自由時間となります。クラブの敷地は広いので散策されたり、プールをご利用いただいたりしてお過ごしいただけます。また、図書コーナーには日本語の本も揃っておりますし、ギフトショップでお買い物を楽し

んだり、眺めの良い屋外のバー（バブーン・バー）でカクテルを片手に絵葉書などを書かれたりするのもお勧めです。

チェックイン／チェックアウト

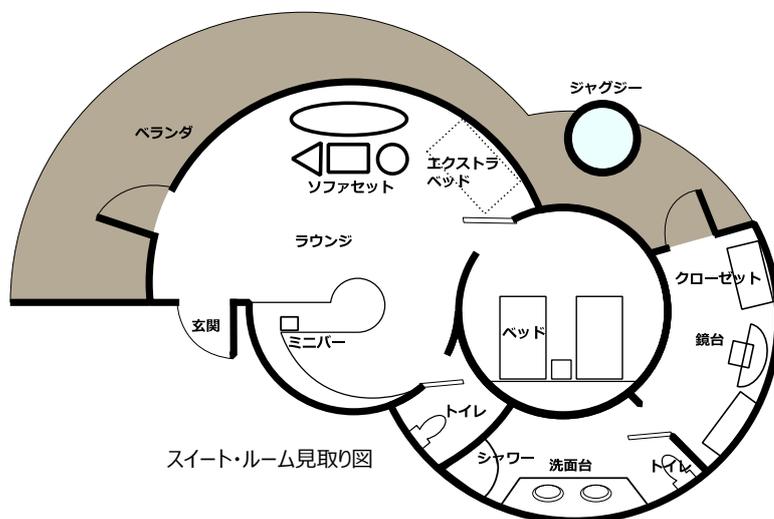
チェックアウトは午前 10 時、チェックインは午前 11 時～午後 6 時 30 分となります。レイト・チェックアウトはお受けしておりませんので、午前 10 時以降にご出発される場合は、図書コーナーやプールサイドなどの共有スペースでご出発までお過ごしいただくこととなります。



客室

ムパタ・サファリ・クラブには 12 のデラックス・ルーム（約 30m²）と 11 のスイート・ルーム（約 62m²）があります。いずれも水洗トイレ、シャワーを完備しておりますがバスタブはございません（スイート・ルームには屋外ジャグジーがあります）。

なお、デラックス／スイート・ルームともに石けん、シャンプー、ボディローション、シャワージェル、シャワーキャップ、タオル等をご用意しておりますが、**歯ブラシ、歯磨き粉、髭剃り、は備え付けておりません。デラックス・ルームには、バスローブ・スリッパは備え付けておりません。**



また自然の雰囲気をお楽しみいただくため、客室にはテレビがございませんのであらかじめご了承ください。

なおムパタ・サファリ・クラブで使用している生活用水は、眼下を流れるマラ川からくみ上げ浄化処理を施したものです。

食事

ムパタ・サファリ・クラブでの食事は、朝食はアメリカン・ブレックファスト、昼食はスープ、メイン、デザート of 3 コース、夕食はサラダ類、スープ、メイン、デザート of 4 コース料理を基本としながら、時おりビュッフェ・スタイルでご提供させていただいてお

ります。また、クラブの敷地内で野菜を栽培しておりますので新鮮な野菜をお出ししております。朝食は 8 : 00～、昼食は 12 : 30～、夕食は 19 : 30～、それぞれレストランにてお召し上がりいただきます。なおレストランにドレスコードはございませんので、気軽な服装でお越しください。

アレルギーをお持ちの方や、苦手な食材のある方、またはベジタリアン・メニューなどが必要な場合、ご予約の際お申し付けください。



ゲーム・ドライブ

四輪駆動のサファリ・カーでサバンナを駆け巡るゲーム・ドライブは、ケニア観光のハイライトです。間近に見る野生動物の美しさと、ダイナミックな自然をお楽しみいただけます。ムパタ・サファリ・クラブでは早朝（6 : 00～8 : 30）と夕刻（15 : 00～18 : 30）の 1 日 2 回、ゲーム・ドライブを催行しています。昼間、動物たちは日陰で休んでいることが多いため、彼らのリズムに合わせてご案内いたします。

写真・ビデオ撮影

本格的に動物を撮影するには 300mm クラス以上（または 6 倍ズーム以上）の望遠レンズ付きカメラが望ましいですが、コンパクト・カメラでも楽しい旅の思い出は十分に記録できます。ケニアでは思わぬ動物との遭遇や雄大な景観に思わずシャッターを切る機会が増えます。カメラのメモリー・カード、バッテリーは予備を含めて多めにご用意ください。また双眼鏡があると動物や野鳥などを間近に観察でき楽しさが広がります。持ち運びやすいコンパクトな双眼鏡で倍率が 8～10 倍程度、できるだけ視野の広いものが適しています。



なお、本人に断りなく現地の人にカメラやビデオを向けるのはトラブルのもとになりますので、ご注意ください。特にマサイ族の人たちを無断で撮影するとトラブルになります。どうしても撮影されたい場合は、ムパタ・サファリ・クラブがご案内するオプション・アクティビティー「マサイ村訪問」をご利用ください。なお、空港などの軍事関連施設や警察官、軍人、政府要人の写真撮影は禁止されております。

パーク・フィー

マサイ・マラ国立保護区内でゲーム・ドライブをするには、保護区への入園料が必要となり、これをパーク・フィーと呼びます。パーク・フィーは保護区を管理するマラ・コンサーバンシーに委託された KAPS が徴収し、動物の密猟を防止したり、保護区を維持したりするために利用されます。

2019 年 8 月現在、大人 1 名 1 泊（24 時間）当たり US \$ 80（子供 US \$ 45）となっておりますが、これは予告なしに変更される場合がございますのでご注意ください。なおパーク・フィーは、オロロロ・ゲートの KAPS 係員にお客様ご自身でお支払い頂きます。

チップについて

英国植民地時代の名残からケニアにはチップの習慣があります。ただしチップはあくまでも感謝の気持ちです。上質なサービスを受けたときには多めにお渡し頂き、大きく不満を感じたのであればお渡し頂く必要はありません。以下はあくまでも目安とお考えください。

- 枕銭 1ドル（毎朝）
- ポーター 荷物 1 個につき 1ドル
- ウェイター／バーテンダー 1 食につき 1ドル
- 運転手 5～10ドル／日（混乗の場合のお客様 1 人あたり）
- 運転手 15～30ドル／日（貸切りの場合の車 1 台あたり）

なおこれ以外にも例えば、自分の不注意で部屋を汚してしまい特別に清掃をお願いしたとき、スタッフに無理を言って何かを手配してもらったときなどに、御礼の意味をこめて、わずかばかりの現金を手渡すのが一般的です。

セキュリティ

ムパタ・サファリ・クラブは電気柵で囲まれおり、警備員が 24 時間体制で巡回しておりますので、ご安心してお過ごしいただけます。ただし、客室内に金庫はございませんので、貴重品や現金は必ずフロントにございますセーフティ・ボックスをご利用ください。

医療体制

緊急の際には、ナイロビからフライング・ドクター（救急飛行機）で医師を要請することが可能です。さらに状況に応じまして、ナイロビ市内の病院まで飛行機で搬送することも可能です。

ゲスト・リレーションズ

ムパタ・サファリ・クラブには、お客様窓口の日本語スタッフが常駐しており、ご相談・ご質問に対応しておりますので、英語が苦手な方でも安心してご滞在いただけます。ご滞在中の予定を確認したり、オプション・アクティビティーを申し込んだり、お客様のご滞在を快適なものにするためのお手伝いをさせていただきます。



デン（図書コーナー）

ムパタ・サファリ・クラブでは英語だけでなく、日本語の書籍も多く所蔵しています。ガイド・ブックや動物図鑑のほか、小説、エッセイなど幅広く取り揃えております。

ランドリー・サービス

ムパタ・サファリ・クラブには有料のランドリー・サービスがございます。ただしドライ・クリーニングは取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

飲み水

飲み水はミネラルウォーターをご利用ください。ムパタ・サファリ・クラブでは一泊当たり 500ml サイズのミネラルウォーター 1 本をお部屋に無料サービスさせていただきます。1ℓ 以上のペットボトルは、バー、レストランで販売しております。

電気

ケニアの電圧は 220～240 ボルト（50 ヘルツ）、コンセントの形状は BF タイプです。なおドライヤーをお持ちになれる場合は、必ず海外対応のものをお持ちください。



一般のドライヤーは変圧器などをご利用されても、一般に容量不足となり故障の原因となりますのでご注意ください。

なおムパタ・サファリ・クラブではディーゼル発電機

による自家発電を行っておりますが、環境保全の観点から、日中の明るい時間帯だけでなく夜間も運転停止（停電）いたします（客室には懐中電灯をご用意しております）。



ギフトショップ、その他

ムパタ・サファリ・クラブ内には簡単なギフトショップがあり、ケニアならではの土産品やムパタ・サファリ・クラブのオリジナル商品、ハガキ、切手などを販売しております。また歯ブラシや歯磨き粉、ひげ剃りや生理用品もお求めいただけます。

ビジネスセンター

ムパタ・サファリ・クラブにはビジネスセンターはございませんが、クラブハウスのバーやレセプション、図書コーナー、レストラン、ならびにスイミングプール周辺でWi Fi をご利用いただけます。ただし、通信状態が不安定になったり、途中で接続が切れたりしても当クラブは一切その責任を負いませんのでご了承ください。

マサイ・コミュニティとの共生

ムパタ・サファリ・クラブでは近隣のコミュニティとの協調関係を大切にしています。水を近隣のマサイ族に提供したり、クラブが所有するサファリ・カーを救急車として活用したり、さらに近隣の小学校へは机や黒板、文房具を寄付したりしています。また、野生生物保護のために密猟者と戦っているマサイ・マラ地域のレンジャーに施設の一部を開放しています。

持ち物チェック表

パスポート	◎	残存期間が6カ月以上あり、未使用ページが連続して3ページあるもの。
ケニア入国ビザ	◎	出発前に必ずオンライン申請にて取得してください。
黄熱ワクチン証明書	◎	経由地により必要となる場合があります。
現金（米ドル）	◎	US \$ 10 以下の小額紙幣（特に US \$ 1 紙幣）はチップに重宝します。発行から10年以内の紙幣しかご利用いただけません。
現金（日本円）	△	ムパタ・サファリ・クラブでは日本円もご利用いただけますが、他の場所、施設ではご利用いただけない場合もございます。
クレジットカード	○	VISA、MasterCard は通用度が高く便利です。
厚手の上着	◎	朝晩は冷え込みます。厚手のフリースやセーターがあると便利です。
長袖シャツ、長ズボン	◎	日焼け、虫除けに便利です。
水着	○	スイミング・プールがございますので、ご利用の場合はお持ちください。スイート・ルームでジャグジーご利用の際も必要になります。
帽子	◎	日差しが強いので、サングラスなどと一緒にお持ちください。
洗面用具	◎	歯磨きセット、ひげそりなども忘れずにお持ちください。
化粧品	○	乾燥するため、リップ・クリームや保湿クリームがあると便利です。また香料のついた化粧品は虫をひきつけますので、無香料のものをお持ちください。
薬	○	常備薬のほか、車酔いしやすい方は酔い止めもお持ちください。
ティッシュ	○	特にウェット・ティッシュがあると便利です。
カメラ/ビデオ	○	予備のメモリー・カードもお持ちになることをお勧めします。
双眼鏡	○	持ち運びやすいコンパクトな双眼鏡がお勧めです。
バッテリー	◎	予備のバッテリーがあると重宝します。
ドライヤー	○	海外（240V）対応のドライヤーをお持ちになることをお勧めします。スイート・ルームには備え付けがあります。
変圧器	△	日本国内（110V）専用の電化製品をお持ちになられる際は、容量をお確かめの上、変圧器をお持ちください。
小型バッグ	○	ゲーム・ドライブ時など、カメラやビデオを入れるバッグがあると便利です。
マスク	○	ゲーム・ドライブ中の埃対策に有効です。乾季には重宝します。
サンダル	○	ゲーム・ドライブ時に重宝します。
スリッパ	○	客室でくつろがれる際、あると便利です。スイート・ルームにはあります。

◎：絶対に必要なもの

○：あると重宝するもの

△：必要に応じて